



ふれあいの森は楽しさいっぱい!

ふれあいの森の「頂上ふれあい広場」にアスレチックが完成しました。休日になるとたくさん子どもたちでいっぱい。二連ブランコ、ロープ登り、波乗り、お山の大将、ターザンロープ、丸太吊橋、クモの巣登り、ネットトンネルと、全部で8種類もあります。また、頂上から見る景色はすばらしいものがあります。ご家族そろってぜひ遊びにきてください。



バランスのとれた総合的なまちづくり

平成14年度施政方針（抜粋）



備設計に入る予定です。また、百里飛行場の民間共用化、つくばエクスプレス、北関東自動車道の建設など町にとって明るい話題もあることも事実でございます。

このような状況を踏まえて、私の政治信条であります「町民本位の行政」「財政の健全化」を基本として町政運営に更なる努力を傾注し、経済情勢の変化に機敏に対応し、国・県との施策とも連携しつつ行政改革を推進する一方、町民だれもが豊かさを実感できる魅力あるまちを創造していくために、社会資本の整備や少子・高齢社会に向けての体制整備などに今後も精一杯取り組んで参りたいと考えております。

また、市町村合併についてですが、二市三町一村で構成されております市町村合併ケーススタディ事業等の報告を参考に、議員各位や町民の皆様と手を携えてこれらの方向性を見出したいと考えております。

ここで、平成十四年度の予算編成方針並びに重点施策の概要について申し上げます。必要性・緊急性・効果等を検討し、バランスの

とれた総合的な町づくりを進め、更に行政サービス水準の確保・向上を図りながら、実施計画を基本とした予算編成を行いました。

調和のとれた魅力あるまちづくり

道路・交通につきましては、国道道のバイパス化や拡幅整備等の早期完成と、町民の皆様の期待の大きい上曾トンネルの早期完成、朝日トンネルの整備計画樹立を県に対し強く要望して参ります。町道整備についても、計画的な整備を進めて参りますが、幹線道路となる岩間・八郷線の着工をはじめ片野・下青柳線、山崎・石岡線等の早期完成に努めます。

恋瀬川改修につきましては、早期改修が図られるよう、県に対し強く働きかけを行って参ります。
安全で快適な環境のあるまちづくり

上水道につきましては、年次計画に基づき柿岡地区老朽管更新事業や小幡地区の配水管布設替事業を進めて参ります。
下水道につきましては、認可区域の計画的な事業を推進し、十月からの一部供用をめざします。

三月定例議会

新年度予算などを可決



平成十四年第一回議会定例会は、三月八日に招集され、二十日まで十三日間の日程で開かれました。提出された案件は、議案三十二件、同意一件、発議一件、請願一件などでした。

◆補正予算

平成十三年一般会計補正予算（第七号）のほか国民健康保険・老人保健・下水道事業特別会計予算及び、水道事業会計予算の補正がありました。

平成十三年度一般会計は、歳入歳出それぞれ一億七、三〇一万八千円を追加し、予算総額を二〇八億三、五四二万七千円としました。

歳入、歳出とも事業の確定に伴う補助金の増減などでした。歳入では地方交付税が二億二、二八六万七千円増額し、県支出金が、農地費補助金の四、四二五万五千円減額となったのがおもなものです。町債は四、三二二万四千円の減額となりました。

歳出は、総務費が二億七、五二五万五千円の補正増、これは、教育施設整備基金積立金が増額されたものです。農林水産業費は、一億四、二三四万二千円減額補正されました。

◆条例の改正など

八郷町課設置条例の全部を改正する条例・八郷町障害者福祉作業

消防・防災対策といたしましては、県総合防災情報ネットワークシステムとあわせて町防災無線の運用強化を図りながら災害を未然に防ぐよう努めます。また、町北東部への消防分署建設について調査・研究を行うと共に消防・防災施設の充実を図ります。

生涯を健やかに過ごせるまちづくり

保健センターを拠点とした健康教育、健康相談、各種検診事業等の保健サービスの充実に努めるとともに、医療機関との連携を図りながら、疾病の早期発見や予防対策に取り組んで参ります。

心のふれあいと思いやりのあるまちづくり

少子化対策につきましては、低年齢児保育・延長保育・緊急保育等多様化する保育ニーズに対応するため、施設及び保育内容の充実に努め、今後も保育所の統合を検討してまいります。

高齢社会への対応につきましては、生涯学習との連携やミニシルバー人材センターの活用により地域での活動の場や交流、情報の提供などに努めます。

介護保険については介護保険の適切な運営を推進するとともに、安心して生活できる環境づくりをめざして参ります。また、障害者支援対策の福祉作業所につきま

しては、新年度早々に運営出来るよう努めて参りたいと思えます。

人々がいきいきと交流するまちづくり

教育・生活文化につきましては、子供たちが健やかに伸び伸びと学習・生活できる環境の整備を進めて参ります。質の高い給食サービスを提供できるよう学校給食センターの早期完成をめざします。文化活動については、情報通信技術講習推進事業の実施や、各種講座の開設や文化・芸術の発表の機会を支援します。

豊かで活力に満ちたまちづくり

農業につきましては、基盤の整備、関係機関の営農指導の強化や生産組織の育成に努め、農産物の生産とコスト削減を図りながら、後継者の育成・確保に努め経営の安定化をめざします。

畜産に関しましては、排せつ物の積極的な利用を図りながら公害の防止を推進して参ります。林業に関しましては、良質材の育成や生産基盤の確立を推進するとともに森林資源の多目的な活用を図ります。

商工業に関しましては、商工会との連携を図り、活性化対策や近代化を目指す融資制度の活用、活性化のためのイベント開催に対し支援します。

観光に関しましては、「茨城県フラワーパーク」や「ふれあいの森」など拠点施設としての機能充実を図りながら観光農業や、やさしと温泉「ゆりの郷」、史跡名所民間事業などを活用した広域的な観光ネットワークの確立をめざします。

町の行政改革

単に行政組織の改編にとどまらず職員意識改革、町民サービスの向上と行政組織機構の見直しや郡内での職員人事交流を行うとともに、電子自治体構築や、住民基本台帳ネットワークシステムの一次稼働を予定しております。

今後まちづくりにあたりましては、町民に対する町の果たす役割と責任の重大さを自覚し、より一層の自主的、主体的な行政運営が求められるとともに、多様化する行政ニーズ、厳しい財政事情をふまえ適切な事業の選択、効率的な財政運営に対応しなければなりません。そのため、行政改革大綱に基づいた行政改革を引き続き推進し、町民の信頼と信託に応えられる行政運営に努めて参ります。

以上、平成十四年度の町政運営の基本的な考え方と施策の概要をご説明申し上げ、議員各位並びに町民の皆様のご理解とご協力をお願いし所信表明といたします。

所の設置及び管理に関する条例の制定・八郷町下水道条例の制定・八郷町都市計画下水道事業受益者負担金に関する条例の制定・改正など十一件ありました。

ほかに、町道路線の変更と、岩間・八郷線道路用地としての町有財産の取得についての案件がありました。

◆契約の締結

下水道管渠工事と学校給食センター改築工事の請負契約の締結の可決承認でした。

●国補特環管渠工事第72号
契約の方法 指名競争入札
契約額 五、一七六万五千元

相手方 日立市 鈴縫工業(株)
代表取締役 鈴木 一良

●八郷町学校給食センター改築工事
契約の方法 指名競争入札
契約額 六億三、三二五万円

相手方 茨城町 葛屋建設(株)
代表取締役 久保田はつ江

◆同意

同意案件は、町固定資産評価審査委員に鯉淵徳松さん(66歳・柿岡)を選任する案を提出、満場一致で同意を得ました。

◆発議

八郷町議会全市町村合併検討特別委員会の設置について発議され、三月二十日可決されました。

この委員会の目的は、現在国が中央集権型から地方分権型に向けて市町村合併を推進しているなかで、市町村合併は、新たな地域づくりの手段として重要と考えられることから、議会ではこの特別委員会を設置して、近隣市町村の実情を調査、検討し、将来的な広域合併に向けて町当局に提言を行い、ひいては八郷町の合併問題に適切な措置が考えられることを目的としています。

◆請願

請願案件は、瓦会地区丸山国有林パラグライダー離陸基地と八郷スカイパーク真家宿地区着陸基地設置の反対に関する請願が提出され継続審査とすることとしました。



平成十四年度予算 総額一八〇億九千万円でスタート

一般・特別・水道会計予算合計

一般会計予算

平成十四年度の八郷町の一般・特別・水道事業会計の各予算案は三月八日から二十日にかけて開かれた定例議会に提出、常任委員会で審議され、二十日原案のとおり可決成立しました。

平成十四年度の一般会計予算は九六億五、〇〇〇万円対前年比では三・八%の増でした。

歳入

歳入は、地方交付税が三六億一、〇〇〇万円で全体の三七・四%を占めています。前年度比三・二%減になっています。

また、事業実施にかかる国庫支出金を前年度比二二・一%増の三億四、八八万四千円、県支出金は五一・一%増の七億三、三六五万五千円を見込みました。

歳出

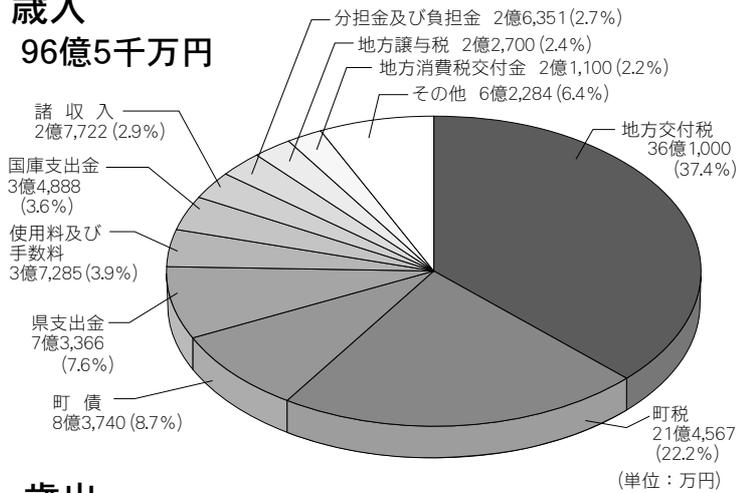
歳出は、民生費の一八億八、七一五万一千円が全体の一九・六%を占め最も大きくなっています。

農林水産業費は、畜産振興総合対策事業などの実施により、前年度比二四・五%増の一七億七、八三万五千円となっています。教育費では、中央公民館の改修工事などを実施することにより、一二億二、三三二万五千円を計上しています。

一般会計歳入歳出予算構成

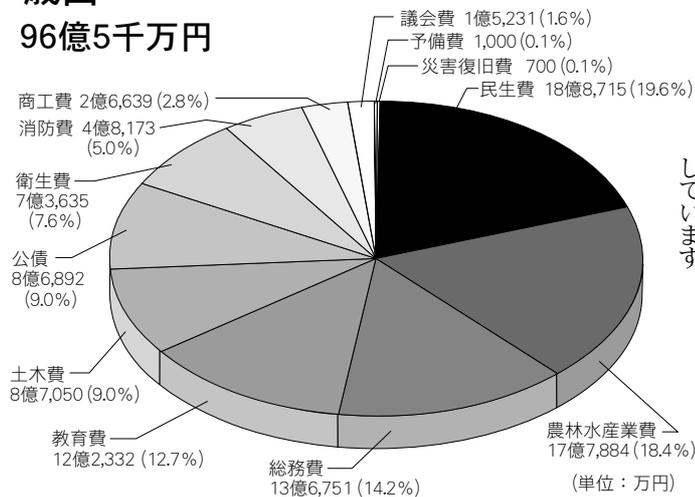
歳入

96億5千万円



歳出

96億5千万円



各会計予算総括表

単位：万円・%

会計名	平成13年度	平成14年度	対前年度比	
一般会計	93億0,000	96億5,000	3.8	
特別会計	国民健康保険	24億0,440	24億0,000	-0.2
	老人保健	28億8,600	32億3,900	12.2
	フラワーヒル	849	2億0,532	2,318.4
	農業集落排水	6,466	6,367	-1.5
	下水道事業	27億3,752	17億9,900	-34.3
	小計	81億0,107	77億0,699	-4.9
水道事業会計	8億6,230	7億3,860	-14.3	
計	182億6,337	180億9,559	-0.9	

町税の内訳

単位：万円・%

税目	平成13年度	平成14年度	対前年度比
町民税	8億1,797	7億8,710	-3.8
固定資産税	11億0,621	11億5,138	4.1
特別土地保有税	1,348	1,420	5.3
軽自動車税	4,241	4,413	4.1
たばこ税	1億4,086	1億3,271	-5.8
入湯税	1,370	1,615	17.9
計	21億3,463	21億4,567	0.5

平成14年度の主な事業



調和のとれた魅力あるまちづくり

岩間・八郷線道路整備事業	2億7,345万円	岩間・八郷線の設計・用地・物件補償と改良工事です。
片野・下青柳線道路整備事業	1億1,336万円	町道109号線の道路改良工事です。
一般町道整備事業	1億3,592万円	一般町道の道路改良工事です。

安全で快適な環境のあるまちづくり

防災まちづくり事業	3,664万円	防火水槽の整備と、小型動力ポンプ積載車の更新をします。
交通安全施設整備事業	665万円	カーブミラー等の交通安全施設を整備します。
下水道事業	17億9,900万円	下水道施設の管渠や処理場などを整備します。
合併処理浄化槽設置事業	1,517万円	合併処理浄化槽の設置者への補助金です。
公衆便所新設事業	1,582万円	役場駐車場を利用される人達のためにトイレを設置します。
新治地方広域事務組合消防負担金	3億6,841万円	新治地方広域事務組合への負担金です。

生涯を健やかに過ごせるまちづくり

予防接種事業	2,954万円	疾病の発生や蔓延を予防するため各種予防接種を実施します。
老人保健事業	4,737万円	生活習慣病の早期発見や健康相談など保健事業を行います。
母子保健事業	910万円	妊婦・乳幼児の健康診断や子育て相談等を実施します。

心のふれあいとおもいやりのあるまちづくり

介護保険事業負担金	1億8,316万円	介護保険事業の負担金です。
シルバー人材センター支援事業	703万円	高齢者の生きがい対策と社会参加の支援をします。
放課後児童保育事業	294万円	小学校1～3年生を対象に園部地区コミュニティーセンターで健全保育と、子育て支援を図ります。

人々がいきいきと交流するまちづくり

中央公民館改修事業	1億2,500万円	冷暖房施設及び音響機器の改修工事です。
インターネット導入事業	472万円	児童・生徒の情報教育の推進を図ります。
生涯学習推進事業	293万円	町づくりを推進するための組織活動、自主事業等への補助です。
情報通信技術講習推進事業	204万円	IT基礎技能の講座開催。
ふるさとコミュニティーセンター整備事業	1,712万円	ふるさとコミュニティーセンター建設の補助金です。

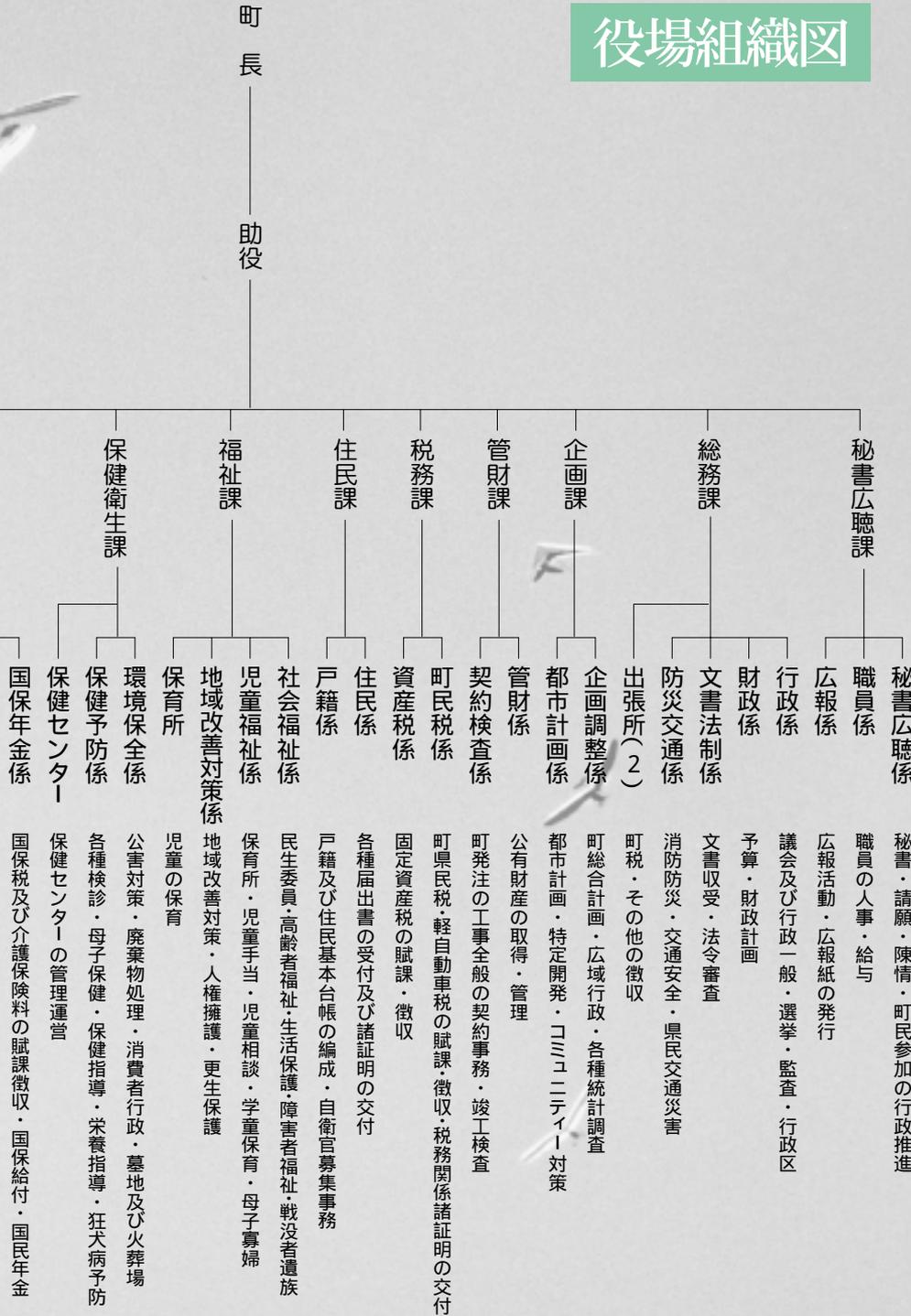
豊かで活力に満ちたまちづくり

団体営ふるさと農道緊急整備事業	7,870万円	上林地区の車道及び歩道の整備です。
棚田地域等緊急保全対策事業	3,015万円	上青柳地区の農道改良舗装工事です。
林道開設事業	7,022万円	林道太田・大增線と半田線の開設工事です。
いばらきの野菜産地強化総合対策事業	1,850万円	野菜農家へのハウスと養液土構システムの補助です。
ふるさと創造事業	3,726万円	地域資源を活し世代間交流や都市住民との交流を図る施設。
畜産環境保全施設整備事業	2億0,741万円	畜産農家の家畜糞尿施設への整備補助です。
商工振興事業	1,058万円	商工振興のための各種補助金です。

4月1日から町の組織が変わりました

左の組織図は、各係の主な担当業務を示したものです。

役場組織図



行政組織機構改革

四月一日以降町の行政組織が上の図のようになりました。

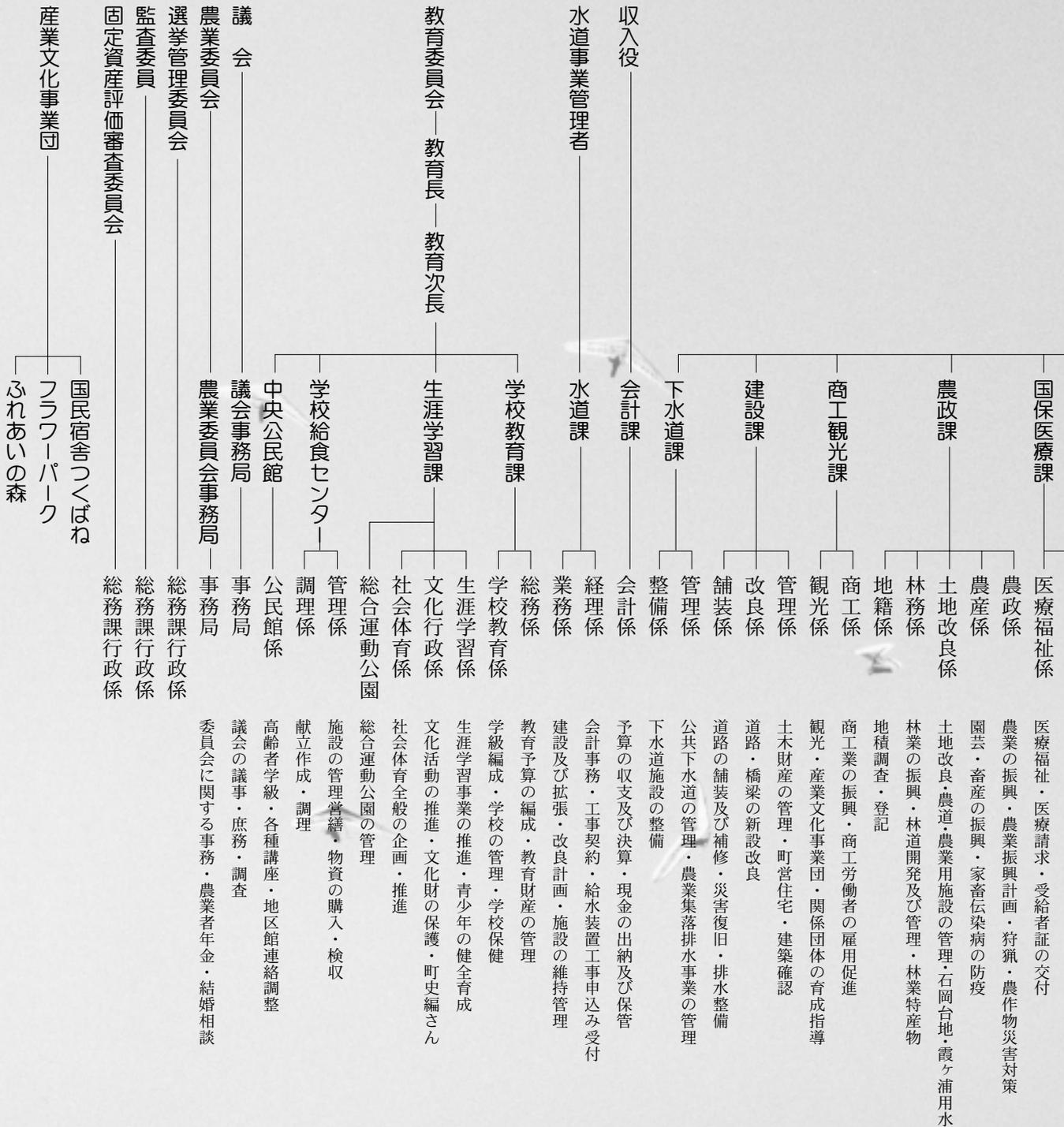
今回の機構改革は、町民サービスの向上と、下水道事業の推進をはじめとする主要課題への対応をより強化するために行うもので、より効率的な組織体制を目的としています。

今回の機構改革のあらまは次のとおりです。

下水道課と保健衛生課を新設しました。下水道課は、本年十月の供用開始に向け、管理係と整備係の二係を置き新設されました。

保健衛生課は、今まで保健福祉課にあった保健予防係と、都市計画課にあった環境保全係を保健衛生課に置くとともに、保健センターの管理運営も保健福祉課から移行し新設されました。

農林施設課と都市計画課を廃止し、農林施設課の土地改良係と林務係は農政課に移行しました。都市計画課の都市計画係は企画課に移行しました。（建築基準法に関する事務は建設課の管理係へ）



また、係の移行にともない企画開発課を企画課に、財務課を管財課に、保健福祉課を福祉課に、国保年金課を国保医療課にそれぞれ課名を変更しました。財務課にあった財政係は、総務課へ移行しました。

国保年金課にあった国民年金係は、機関委任事務であった年金事務が国の事務とされたことで、国民年金係を廃止し、国保医療課の国保年金係に移行しました。

住民課の記録係は戸籍係に係名を変更しました。

なお、生涯学習課は、事務所が役場二階から、中央公民館一階へ移りました。

二十一世紀の健康づくり運動

新しい健康づくりの運動である「健康日本21」。この運動は私たち一人ひとりが「健康長寿」を実現し、実り豊かな人生をまっとうするための道標といえるものです。みなさんも積極的に主体的努力によるこの健康づくり運動に参加してください。

9分野70項目で目標設定

現在、がん、心臓病、脳卒中の三つの疾患を合わせると、日本人の死亡原因全体の六割を占めています。また、日本で治療を受けている患者のうち、高血圧、糖尿病



昨年のウォーキング大会は220人が参加。入念な準備体操後スタートしました。

め、「健康日本21」では生活習慣病（糖尿病、循環器病、がん）や生活習慣（栄養・食生活、身体活動・運動、たばこ、アルコール）を重要課題として七項目を選択しました。このほか、「生活の質」を考えると、精神疾患や口腔疾患なども大きな健康課題となるため、「休養・心の健康づくり」と「歯の健康」を加え九分野になりました。さらに、これらの分野で七十項目にわたり目標値

を設定しています。

運動と食事に気を付けよう

具体例としましては、

★食塩摂取量の減少（成人 現状 一三・五g→二〇一〇年一〇g）

★日常生活における歩数の増加 男性現状八、二〇二歩→二〇一〇年九、二〇〇歩 女性現状七、二八二歩→二〇一〇年八、三〇〇歩

★野菜の摂取量の増加（成人）現状一九二g→二〇一〇年三五〇g以上

★カルシウムに富む食品の摂取量の増加（一日当たりの平均）牛乳・乳製品 現状一〇七g→二〇一〇年一三〇g以上 豆類 現状七六g→二〇一〇年一〇〇g以上 緑黄色野菜 現状九八g→二〇一〇年二二〇g以上などです。

また、生活習慣病の改善により見込まれます。

- ・心臓病 男性約二十五%減少、女性約十五%減少
- ・脳卒中 男性約三十%減少、女性約十五%減少
- ・糖尿病 約七%減少

ドックの補助 2,000円アップ



町では、疾病予防事業の一環として国民健康保険加入者の三十歳以上を対象に「人間ドック」の補助をしています。補助額は今年度から二千元アップして二万二千元（二件当たり）になりました。また、脳ドックの補助も二千元アップして二万五千元になりました。

ドックの指定医療機関、利用料金等は次のとおりです。

- ◎指定医療機関名
- 石岡市医師会病院
- 豊後荘病院
- 土浦協同病院

この三病院では「日帰り人間ドック」が受診できます。受診費用は医師会と豊後荘病院が三万六千七百五十円、協同病院が三万七千八百円です。いずれの補助金も定額二万二千元。受診者負担額は医師会と豊後荘病院が一万四千七百五十円、協同病

院が一万五千八百円になります。

○つくば総合健診センター（つくばメディカルセンター）

同健診センターでは「日帰り人間ドック」と「脳ドック」が受診できます。受診費用は「人間ドック」が三万八千八百五十円、そのうち町補助金が定額二万二千元、受診者負担額は一万六千八百五十円です。「脳ドック」の受診費用は五万二千五百円、そのうち町補助金が定額二万七千元、受診者負担額は二万五千五百円になります。

◎受診申込
あらかじめ国保医療課に申し込み、町発行の受診券を希望する医療機関に持参してください。

◎人間ドック検査項目
どの指定医療機関でも同じような検査項目ですが、問診、身体計測、貧血、血清、呼吸器循環器、消化器、生化学、糖尿病検査、整形外科、耳鼻科、眼科などです。最後に総合判定となる医師の面接があります。

なお、十三年度に受診した方は八十四人です。

職員定期異動

四月一日付 (一)内は旧所属

【総務課】▽課長補佐兼行政係長

大村義夫(財務課)▽財政係長古

内勝人(同)▽防災交通係長谷仲

幸造(農政課)▽主査高野和子

(財務課)▽主事飯塚裕一(都市

計画課)▽主事鈴木俊彦(財務課)

【秘書広聴課】▽課長補佐兼職員

係長松崎守男(同課)▽秘書広聴

係長前沢洋一(国保年金課)▽主

査宇田はつ子(財務課)【企画課】

▽課長大久保正見(農林施設課)

▽課長補佐兼都市計画係長大岡哲

雄(企画開発課)▽企画調整係長

上曾宗則(都市計画課)▽主査鈴木

やい子(企画開発課)▽主査島田美

智男(同)▽主事鈴木俊郎(同)▽

主事木崎憲一(同)【管財課】▽課

長海東慎行(財務課)▽課長補佐

兼管財係長岡崎喜一(同)▽契約

検査係長吉川隆(企画開発課)▽

主査桜井俊充(財務課)▽主査菱

沼茂雄(同)▽主査田上幸子(学校

教育課)▽主幹飯田修久(財務課)

【財務課】▽課長杉田吉行(総務

課)▽主幹小河原貞子(学校給食

センター)【住民課】▽課長高橋

久(秘書広聴課)▽課長補佐兼戸

籍係長富田雅博(同課)▽主査須

藤和子(建設課)【福祉課】▽課

長久保田哲夫(保健福祉課)▽課

長補佐兼地域改善対策係長小松崎

安代(同)▽社会福祉係長市村明

(総務課)▽児童福祉係長森正美

(中央公民館)▽主査兼運転手植

木信夫(保健福祉課)▽主査菱

沼喜代子(同)▽主査藤岡はつ

江(同)▽主査菊地貞子(同)▽主

査岡崎喜美子(総務課)▽主事今

橋輝雄(保健福祉課)▽主事野

村玲子(同)▽主事市村利明(同)

【国保医療課】▽課長鈴木孝夫

(恋瀬保育所)▽課長補佐兼国保

年金係長岡野孝男(国保年金課)

▽医療福祉係長飯島岩夫(同)▽

主査茂垣二枝(同)▽主査長戸宣

子(同)▽主査森田孝子(同)▽

主査綿引育子(同)▽主幹広瀬隆

品(同)▽主事野口健市(同)▽

主事木村健一(同)▽主事櫻井佳

恵(同)▽主事鈴木加代子(同)

▽主事塚田光典(同)▽主事飯田

昭憲(同)【保健衛生課】▽課長

小松崎芳夫(住民課)▽課長補佐

兼保健予防係長飯田君子(保健福

祉課)▽環境保全係長武熊俊夫

(都市計画課)▽主査荒井利枝

(保健福祉課)▽主査兼保健師笹

嶋洋子(同)▽主査兼保健師宮城

幸子(同)▽主査木村しづ江(葦

穂保育所)▽主幹額賀和夫(保健

福祉課)▽主幹荒井弘一(農政

課)▽主幹桜井浩司(都市計画

課)▽主幹兼歯科衛生指導員白田

静江(保健福祉課)▽主幹兼保健

師渡辺睦美(同)▽主幹兼栄養士

飯田博子(同)▽保健師栗原久美

子(同)▽保健師吉田貴子(同)

▽保健師高橋幸(同)【農政課】

▽課長岡野佐工(ふれあいの森

▽農政、農産、地籍担当課長補佐

兼農政係長雨貝和男(同課)▽土

地改良、林務担当課長補佐兼土地

改良係長鈴木隆(農林施設課)▽

地籍係長吉田敏一(生涯学習課)

▽林務係長久保田正美(農林施設

課)▽農産係長小松崎信彦(都市

計画課)▽主査友常豊行(農林施

設課)▽主査内田満(みなみ農業

共済)▽主幹秋原勇(農林施設

課)▽主幹柴山伊佐夫(同)▽主

幹川井正和(みなみ農業共済)▽

主事萩原信明(農林施設課)▽主

事塚田智之(同)【産業文化事業

団]▽つくばね支配人甲一郎(ラ

ワーパーク)▽フラワーパーク

事業課長櫻井正夫(農政課)▽ふ

れあいの森所長以後崎隆(保健福

祉課)【建設課】▽主査中嶋多美

子(農林施設課)▽主幹嶋田勉

(水道課)【下水道課】▽課長市

村章二(都市計画課)▽課長補佐

兼管理係長白井俊(財務課)▽整

備係長小松崎隆雄(農政課)▽主

査平百代(都市計画課)▽主査大

関浩二(同)▽主幹仲野谷昭浩

(同)▽主幹吉田昌司(農政課)

▽主幹武熊孝子(国保年金課)▽

主事岩淵二広(都市計画課)▽主

事大久保和夫(同)▽主事鈴木麻

里(同)【会計課】▽主査岡田恵

子(住民課)【農業委員会】▽事

務局長補佐兼係長黒崎輝夫(保健

福祉課)【学校教育課】▽学校教

育係長嶋田行正(財務課)▽主査

福田美佐子(秘書広聴課)【生涯

学習課】▽課長広瀬孝行(同課)

▽課長補佐兼生涯学習係長高野喜

市郎(保健福祉課)▽社会体育係

長藤岡直子(同)【中央公民館】

▽館長村田寛(フラワーパーク)

▽公民館係長足立裕路(総務課)

【水道課】▽主幹広瀬重樹(都市

計画課)【学校給食センター】▽

所長補佐兼管理係長助川時男(農

業委員会)【みなみ保育所】▽所

長君山孝道(生涯学習課)▽保育

士松川右子(恋瀬保育所)【葦穂

保育所】▽主任保育士高橋道子

(園部保育所)【恋瀬保育所】

▽所長平栄(財務課)【瓦会保育

所】▽調理師高橋良子(学校給食

センター)【園部保育所】▽主任

保育士西村のり子(葦穂保育所)

▽主査兼保育士友部文子(恋瀬保

育所)▽主査兼保育士石川町子

(瓦会保育所)▽主査兼保育士羽

生喜美子(林保育所)▽主幹田上

恵美子(林保育所)▽保育士長谷

川和明(財務課)【林保育所】▽調

理師小林和子(学校給食センター)

【新治地方広域事務組合へ派遣】

▽小林敏夫(福祉課)▽横田由紀

(同)▽豊崎共子(保健衛生課)

【人事交流職員関係】

他町村へ(一)内は旧所属

▽千代田町・主事野村栄貴(財務

課)▽新治村・主事鬼沢将隆(農

政課)▽玉里村・主事細谷和彦

(建設課)▽霞ヶ浦町・主査兼保

育士野口美智子(園部保育所)

他町村から(一)内は配属先

▽霞ヶ浦町・主幹中泉栄一(農政

課)▽玉里村・主事菅澤和則(建

設課)▽新治村・主幹田中俊雄

(財務課)▽千代田町・保育士嶋

田洋子(みなみ保育所)

【新採】四月一日付

(一)内は配属先

▽清水はるな(総務課)▽大山美

徳(企画課)▽土師健弘(管財課)

▽永井明博(財務課)▽富田孝(下

水道課)▽小林園子(柿岡保育

所)▽田山沙織(みなみ保育所)

【退職】三月三十一日付

▽滝田国雄(企画開発課長)▽臼

井忠雄(国保年金課長)▽菱沼秀

雄(みなみ保育所所長)▽前島昭一

(都市計画課長)▽斎藤輝男(中

央公民館長)▽大塚利子(園部保

育所主査)▽中島マサ(学校給食

センター調理師)▽高岡八重子

(林保育所用務手)▽滝田利江

(会計課主査)▽相澤きみ子(学

校教育課係長)▽海老沢菊枝(瓦

会保育所主査)

教育は「今」①

進む教育改革の中で



教育委員会生涯学習課
社会教育指導員
佐藤 信夫

本年度は標記の教育は「今」というテーマで「学校教育」「家庭教育」「社会教育」などを取り上げ、皆さんと一緒に考えてみたいと思います。

早速ですが、広報やさと二月号の特集で「はじまります。完全学校週五日制」が紹介され、各メディアも報道していることから関心の大きさが感じられます。二十一世紀に生きる子どもたちにとって我が国教育の大改革が行っています。週五日制もその一環なのです。

なんでもそうですが、改革のときは不安と期待とが入り混じって賛否両論がつきものです。

週六日制から週五日制への変更はなにせ我が国近代教育百三十年ぶりの改革ですから・・・

完全学校週五日制の「完全」とは

これまでの教育制度の中で、授業日は、月曜日から土曜日までの六日制でしたが、この四月から完

全に五日制になったので文字通り解釈すればよいのです。この「完全」になるまでは十年の経過措置がありました。

それは、平成四年九月の第二土曜日から毎月一回土曜日が、次いで、七年四月からは第二・四土曜日が、そして本年四月から全部の土曜日が休業日となったので、完全学校週五日制というわけです。

保護者の戸惑い

毎週土曜日が休業日になるということは、授業時数が減るわけですから一般的には学力が低下するのではないかとというところも考えられるので保護者の方にとってみれば心配するのもやむをえないと思います。

特に、学校が変わる・三割削減で大丈夫？・総合学習って？などマスコミが騒ぎたてるので関係者の皆さんが迷うのです。

しかし、学校はこれまで十年間にわたって計画的に教育内容を充分検討してきたので心配することはありません。

真の学力を身につけよう

これまでは知識面の評価を指す場合が多かったのですが、これからの「学力」は、知恵という考え方に切り替わります。学校ではこれまでの知識教育とあいまって「総合的な学習の時間」の新設により、自ら学び自ら考える力の育



新任式、始業式、入学式が同日行われました。
“よろこびの入学式” 4月8日(月) 園部小学校にて

成に真剣に取り組んでいます。

このように、知識の詰め込みを少なくして、ほんとうの人間教育をめざしているのです。

加えて、知恵を教える場として家庭が一番、地域が二番です。

知識を使いこなしてはじめて知恵のある人間になります。共同作業やお手伝い、予習・復習といった自学自習、地域での遊びや少年団活動、ボランティア活動などが創造性を培う基礎になります。

里山にできるのはいかに

八郷町にはすばらしい自然があります。休業日には家族で小川や里山に出て花を愛で、山菜を摘み、おにぎりをほおばりながら思ひ出を築くこともよいでしょう。

●最近気になる病気

ハミガキの重要性と

歯周病について

豊後荘病院

歯科 西原一成医師



歯の病気には、いろいろありますが、痛みがないからといって必ずしも病気がかかっていない訳ではありません。特に歯周炎のような疾患は、本人の自覚がないままに進行していることが多く、歯科医院に來られた時にはすでに重度の歯槽膿漏にかかっていることもあります。歯は通常、歯槽骨という歯を支える骨によって囲まれています。この骨は、加齢とともに少なくなってしまうのですが、骨の吸収されてしまう原因は歯周炎によるものがほとんどと言えます。

ためには、患者さん側のハミガキによる歯垢除去(いわゆるブラークコントロール)が不可欠であり、あらゆる処置に先駆けて行う必要性があります。ハミガキをうまく行うことは非常に難しく、歯科医院で指導を受けたことがあったとしてもなかなかうまく歯を磨くことはできない方が多いのが現状とされます。特に歯周炎が進行した方においては、歯の表面を磨くのはもちろん歯と歯の間、歯と歯肉の間を磨くことが非常に重要であると言えるでしょう。

歯周炎は、歯垢中の細菌が原因で慢性あるいは急性の炎症、骨吸収を起こし、歯がグラグラとなってしまう病気です。いったん歯周炎にかかると完治することは非常に難しく、歯科医によるプランに沿った治療をすることが必要となります。治療は歯科医師、歯科衛生士を中心になされますが、治療が奏効する

という恐怖心のためか、少しづらいい調子が悪くても歯科医にかからない方が多いと思われる。しかし、歯の病気はなるべく早いほうが簡単に治療でき、それだけ通院も減らすことができるので、無症状に経過する歯周炎の予防のためにも定期的な検診等の歯科医院への受診をお勧めします。

わたしの手料理

春の五目ずし



食生活改善推進員 木崎清美（上青柳）
（ヘルスメイト）

【材料】（4人分）

- ごはん 600g ●酢 40cc ●砂糖 16g
- 塩 4g ●油あげ 1枚 ●戻しいたけ 4枚
- にんじん 40g ●ゆでたけのこ 40g
- 絹さや 16枚
- 煮汁（だし汁 260cc・しょうゆ 20cc）

【作り方】

- ①ごはんは酢、砂糖、塩を混ぜる。
- ②だしとしょうゆで煮汁を作る。
- ③油あげは油抜きをして水気をしぼり、細切りにして煮汁で煮る。椎茸は煮汁 1/3 の量で煮て、千切りにする。にんじんと、ゆでたけのこ絹さやを細切りにして、残りの煮汁で煮る。酢飯に彩りよく混ぜる。



わが家のアイドル

下林

矢萩尚斗ちゃん

平成12年2月2日生まれ

父 義典さん 母 悦子さん

家族からの一言

わんぱくで泣き虫な男の子です。電車が大好きで、本物を見せると大喜びではしゃぎます。普段は外で元気に遊んだり、ママやおばあちゃんと散歩したりしています。健康で優しい子に育ってほしいですね。

八郷の歴史 (13)

佐自塚古墳にまつわる付会伝承

佐自塚古墳（前方後円墳）は、昭和三十八年の春に学術調査が行われ、五世紀の前半のころ、八郷盆地に君臨した豪族の墳墓であることが明らかにされた。ところが、佐自塚古墳に忠実とみることはできない伝承が『八郷町誌』に紹介されている。要約すると次のようになろう。

その昔、佐久の鹿島神社（大杉さま）の近所に「白ほり」を業とする男が住んでいた。仕事場は丸山（高友）の丘が見える高台にあった。ある日のこと、日暮れ時となり、帰り支度をしていると若い女がおいはぎに追われているのことで助けを求められた。そこで男は、とっさに伏せておいた臼の中に女を隠し、難を

避けることができた。この時すでに闇夜になっていた。女は当夜を神社の社殿で過す旨を告げたが、それを不憫に思った男は家に連れて帰った。

いつもより帰りが遅いので案じていた白ほりの女房は、亭主が若い女を連れ帰ったばかりか泊める意向であることになりそう激怒し、自らが家を出る騒ぎとなつた。二人の諍いを聞いていた女は、これ以上迷惑はかけられないとして暇乞いのうえ、行き先も告げず出て行ってしまった。

翌朝、男は女の身を窺しながら仕事場に向かった。すると、仕事場近くの山林で首を吊つて死んでいる女の死体を発見

してしまつた。驚いた男は早速村に立ち回り、村の衆に昨夜からの経緯を語つた。村人も憐れに思い塚を築き遺体を埋葬し供養したという。

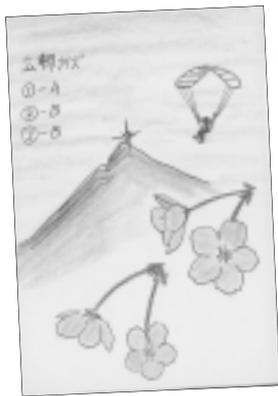
これが伝承の大筋であるが、塚の名称については触れていない。

五世紀代前半のころに築かれたとする佐自塚古墳は、しばらくの間は貴人の墓所に相応しい祭祀行為が執行され、組織的な維持管理が機能していたのであろうが、千数百年余のいつのころからか、葬祭の場に対する歴史的意義や畏敬の念がしだいに忘却され、たんなる「塚」として存在していたことになる。この付会伝承はそのことを如実に語っていると言え

るが、こうした史実とはまったく異なり、信じ難い内容の昔話が形成され、語り継がれていることに、古墳の被葬者はさだめし愕然としているに違いない。

町域に分布する古墳のうち、高友丘陵を中心に柿岡・長堀・佐久地内の山林には数多くの古墳が認められ、その頂に神社や石祠を祀る例が多い。それは村人の精神的支柱が神社にあった証左であると同時に、古墳もまた祖霊の鎮まる信仰の対象であつたと考えられる。特に丸山古墳には開拓話に登場する豊城入彦命の奥津城とする信仰が厚く、全域が禁足地であつた。他方、佐自塚古墳についても、その被葬者を豊城の「后」とする伝承が残ることから、丸山古墳に示される畏敬の念と同じく、かつては村人による丁寧な祖霊供養が行われていたものと推測されるのである。

町史編さん専門委員 西宮一男



PN 春 眠



PN オヤビン



PN シトラス



下林 氏家 寛



P.N いつか

みんなの ひろば

わたしも一言

この地に嫁いだ頃、この土地に早く馴染んでみなさんに愛される人間になりたいと願い続けてきました。姑が空を見上げて「雷様(らいさま)が来てくれるといいが」というのを聞いて、雷のことは様をつけるのが、農家と雨との関係はこんなにも大事なのかと分かった私です。姑との野良の帰り、「お晩方になりました。いいおしめりで良かったですね」と行きかう人に姑が言つ挨拶言葉を美しいと思いました。その言動を見習ってききました。何も分らない私でした。

また、寒い時、近所の人がいらっしゃると姑は「あたらしい」と言つて竈の火をかき出したり、囲炉裏にそだ木

をくべたりしました。この「あたらしい」という言葉とその仕草は私に感動をあたえ、私もあの様になって人々と溶け合う仲になりたいと思いました。ちく(うそを言うこと)、こじやっぺ(大人気ない幼稚な人)、そそらっぺ(しみじみしない人)と言つこともこの地に来て知りました。かきまわしとは炊事仕事のこととも知りましたが、なぜ炊事をかきまわしと言つのか考えることもあります。

今も姑の声が耳に残っています。「今日は部原のおあみだ様(神事)だから、畑休んでかきまわしやろ」と。

匿名

この地域にもある方言。故郷を離れると、むかし耳にしていた言葉を思い出し、ふるさとが懐かしいと感じる方は多いと思います。「かきまわし」は茨城では「炊事」という意味で使われていますが、岐阜では「五目的」、静岡では「四つ身の着物」の意で使われるそうです。言葉一つ取っても土地によっていろいろな使われ方があるようです。人の行動範囲が広がり、テレビなどを通じていろいろな言葉を知ることができる現在、方言を使い、なまりのある言葉で話している人が少なくなっています。方言はこれからどうなるのでしょうか。先人から受け継がれてきた地域独特の言葉をあらためて見直すことはおもしろく、また大切なことだと思えます。

広報係

習字コーナー

評 日本教育書道連盟審査員 岩波芳水

小幡小四年 木崎千奈美

小椋小五年 島田恵梨子

小村さ

予想

力強い運筆で形も美しく書けています。

一筆一筆に気持ちがこもっていただいへんよい作品です。

島田恵梨子

全問正解者のなかから
抽選で図書券が当たるよ

広報クイズ 169

3つの答えの中から正解を選びハガキに書いて送ってください。

①平成14年度一般会計予算の総額は
いくら？

A-96億5千万円 B-90億5千万円
C-86億5千万円

②町では国民健康保険加入者の三十
歳以上を対象に人間ドックの補助を
していますが、今年度から1件当た
りの補助額はいくらになるでしょ
うか？

A-2,000円 B-22,000円
C-25,000円

③八郷町美術展は何科で行われます
か？

A-5科目 B-6科目 C-7科目

[応募の方法]

☆ハガキに広報クイズ169と書き、
答えの記号(例①-A)、住所、氏
名、年齢、世帯主と「私もひとこと」
へのご意見や広報の感想などを書い
て送ってください。イラストやマン
ガも大歓迎。

☆締切日 平成14年5月20日
(当日消印有効)

☆応募先 〒315-0195 八郷町柿岡
5680-1 八郷町役場秘書広聴課

☆当選者の発表 本紙6月号

[広報クイズ167の当選者の発表]

正解は①-A、②-B、③-Bで
した。応募総数40通、正解35通の中
から次の10人が当選しました。

加藤隆一(片野) 木村和子(川又)
小林有佳里(下林) 杉山はつ(柴間)
須藤孝子(柿岡) 関真奈美(半田)
高橋里美(柿岡) 田口ふみ(片野)
永須三男(柿岡) 皆川遥香(片野)

[敬称略]



P N ペペロンチーノ



P N 星の砂姫



P N いおり

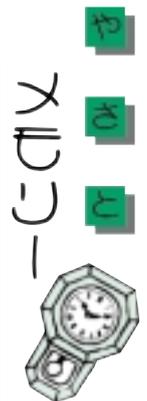
● やさと文芸

	俳句	短歌
俚謡	俳句	短歌
花の香りも梅から桃へ東風が乗せ行く里の春	釣舟の櫂きこらきらと鴨浮寝	成人の孫の着飾る晴れ姿亡夫に見せたき思ひ溢れつ
晴れて合格安堵の顔をそとと撫で行く春の風	傾ける祠もありて藪椿	春浅き朝にしあれど冴え返り木立透り来こげらのドラム
風情楽しむ露天の風呂を野暮に雲間で覗く月	道の辺に沈丁の香の漂ひて	霜柱厚み増したるさ庭辺にさんしゆゆあえかな黄をほころばす
柿岡 鈴木千代子	鈴木弦月選	半田 大栗幸男
下林 額賀力江	下林 谷島清風	山崎 荒井幸子
		月岡 萩原照子
		大塚 誠選
		綿引鼓峰選
		柿岡 川井トキ
		瓦谷 鈴木浦子
		東成井 菱沼いみ子

昭和五十八年の小学校入学式。
当時は町内の小学校の新入生が三
百九十五人でした。そして今年の
新入生は二百七十二人。二十年も
経たないうちに随分子どもたちが
少なくなつたようです。



柿岡小学校体育館にて



まちの話題できごと

身近な出来事や地元の話題をおよせください
(連絡先・秘書広聴課 内線一三四三)

国道355号石岡岩間バイパスの供用始まる

国道355号石岡岩間バイパスがこのほど完成し、三月二十七日に開通式が行われました。国道355の東成井地内は、カーブが多いうえに道幅も狭く、自動車をはじめ歩行者の通行に支障をきたしていたため、県が平成元年度より石岡から東成井までの四・一キロのバイパス整備事業に着手してまいりました。完成した道路は、幅約二十五メートルの片側二車線道路で、暫定一車線で供用を開始する予定です。地域住民の日常生活の利便性や安全性の向上ばかりでなく、地域間の交流が促進されるアクセス道路として大いに活用されることが期待されます。



地域商工業の発展を目指して

平成十四年の完成を目指して建設工事が進められてきた八郷町商工会館がこのほど完成し、三月二十六日に竣工式典が行われました。町商工会は、昭和三十五年に設立され、八郷町の小規模事業者の経営指導や相談を行いながら、地域経済の活性化に努めてまいりました。商工会館は

旧八郷町役場の跡地(稀園)に建てられ、敷地面積一、八八五・六五平方メートル、建設面積三三二四・六九平方メートル、延床面積四七二・五九平方メートルの鉄骨二階建てです。永井清商工会長は「地元商工業と八郷町の発展のために積極的な事業展開を進めていきたい」と語りました。



ぼくたちわたしたちピカピカの一年生

四月八日、小学校の入学式が町内一斉に行われました。

級生に拍手で迎えられ、ちよつぱり緊張した様子でした。

恋瀬小学校では今年度の入学児童は二百二十人で、式ではミッキー・マウス・マーチのリズムに乗って、一年生が元気に入場。上

今年度の町内の小学一年生は合わせて二百七十二人。友達たくさんでできると思いますね。

橋の名称が決まりました

片野地内からフラワーパークに通じる町道に架ける橋の名称を募集したところ、三百二十八通の応募がありました。その中から、(写真左)小幡小学校六年生の塩谷美冨さんが応募した「はなぞの橋」が選ばれ、橋の名前が決まりました。たくさんのご応募ありがとうございました。



ありがとうございます

○有明中学校に書棚と校歌額各一
平成十三年卒業生一同
○恋瀬小学校に温風ヒーター一台
とノーバンク一輪車二台
平成十三年卒業生一同

訂正とお詫び 広報やささと三月号十二ページの「わたしも一言」のコーナーの家庭教育講座は、八郷町で行われたものではありません。三月二十五日発行のスポーツやさとの新治郡体育大会・球技大会は六月十六日(日)で延期の場合は六月二十三日(日)です。訂正するとともにお詫びいたします。



観光シーズン前に沿道をきれいに

観光シーズンを目前にひかえた三月二十八日、八郷町すてき旅案内人の会（鯉淵徳松会長）と八郷町ふるさと体験協議会（木崎真会長）の会員合同による清掃が行われました。清掃には二十四人の会員が参加し、フラワーパーク入口から左右二手に分かれ、それぞれ約二キロの沿道のごみを拾いました。

参加したみなさんは「この道路を観光客のみなさんが通ったときに、少しでもいい気持ちになってくれたらうれしいです」と話していました。これからも二か月に一回のペースで、観光スポット付近のごみ拾いを行う予定です。

八郷町すてき旅案内人の会は平成十三年に、観光客に八郷町の自然、歴史、文化などを紹介しながら、観光案内活動の研修をすることを目的に結成されました。同会では観光ボランティアガイドや地域の観光資源の再確認と再発掘、ボランティア活動の普及啓発などを行っています。また、八郷町ふるさと体験協議会は、町の農山村を町外の方たちにも知ってもらうため、農業や間伐、そば打ちなどの体験してもらい、八郷町の自然を楽しんでもらうことを目的として活動しています。これからの町の観光にさらなる期待が持てそうです。

大沢悠里さんチャリティー講演行う

三月二十九日にTBSラジオの「ゆうゆうワイド」でおなじみの大沢悠里さんによる講演会が、中央公民館を会場に行われました。これは、小幡の高橋良晴さんが八郷町の児童福祉のために、地域住民によって何かできることはないだろうかという思いから、大沢さんと親交のある方を通して開催に至ったものです。講演会には約五百五十人が集まり、大沢さんの体験を交えたユーモアあふれる話術に会場は笑い声に包まれました。

講演で大沢さんは「いつも笑顔でいばらないこと、悪口を言わずにたくさん話

すこと、そしてありがとうの気持ちを忘れないことが大切」と語りました。

代表の高橋さんは「講演会にたくさんの方が来てくれてうれしかったです。ただ残念なのは、お子さんが場内をちよろちよろしていたのが目立ったことですね。

親と子どもには一緒に聞いてもらいたいと思うのですが、子どもが聞けなくなつた時の対応を親には考えてもらいたい」と話していました。講演会のチャリティー募金二十一万九千六百九十九円と大沢さんへの講演料の三十万円は、町の福祉のために寄付されました。



大沢悠里さん

携帯用サイトができました。
モバイル版ホームページも見て下さい。

i-mode

<http://www.net-ibaraki.ne.jp/yasato/i/>

J-SKY

<http://www.net-ibaraki.ne.jp/yasato/j/>



(渡)

四月に新しい年度が始まり、就職や進学などで新しい環境に変わった皆さんもこの時期にはもう落ち着き、仕事や勉強に打ち込んでいくことと思います。広報紙も、徐々に変化を加えさらに読みやすい紙面にするを考えています。皆さんのご意見や感想などをお待ちしています。

さて、三年間にわたって「八郷の巨樹・老木」を執筆していた小森文男先生に代わり、今月から佐藤信夫先生の「教育は今」がスタートします。お楽しみに。



八郷町
美術展

5月23日(木)
~ 27日(月)

作品が心と心の 架け橋に



昨年(2014年)の美術展で

美術を愛好する方たちの芸術活動の発表の場として、毎年行われている八郷町美術展も今年で6回目を迎えます。これまでも多くの参加があり、昨年は164人が出品、231点もの作品が展示されました。会場には町内外から多くの方が来館し、作品を鑑賞しました。

第6回八郷町美術展は5月23日(木)から27日(月)の5日間、中央公民館を会場に開催されます。多くのご来場をお待ちしております。

第六回八郷町美術展は次のとおり行います。

会期 平成十四年五月二十三日

(木)~二十七日(月)の五日間

時間 午前九時~午後四時

会場 中央公民館

種目 次の五科に分かれます。

第一科 日本画・水墨画

第二科 洋画(油絵・水彩・デ

ザイン)

第三科 彫刻・工芸美術(陶芸・

ガラス工芸等)

第四科 書

第五科 写真

作品展示準備 五月二十二日(水)

午前九時~ 中央公民館 ※出

展者は会場準備にご協力をお願い

いたします。

作品の搬入 五月二十二日(水)

午前九時~十時 中央公民館

作品の搬出 五月二十七日(月)

午後五時~

出品申込締切 五月七日(火)まで。

なお、出品できる方は、八郷町

に在住または勤務(通学)する方

(高校生以上)、町内出身者ほか

主催者が認めた方となります。

問い合わせ先

役場生涯学習課(中央公民館内)

TEL 四三二二二二

(内線一六一〇)

花と緑の菜園
茨城県 **アサヒパルコ**

初夏の香り
ブルーベリー



ブルーベリーは北米原産の果実で、果実が目の良いことや、食物繊維、ポリフェノールなどの体に良い成分が多く含まれていることで、最近注目を集めている果物です。

◆**植え付け**(二~三月)

有機質に富んだ排水の良い強酸性(pH4~5)の土壌に植えます。直径六十センチ、深さ四〇センチの穴を掘り、掘り起こした土と同じ量のピートモス(酸度未調整)とを混ぜ合わせ、根鉢をピートモスで包んだ苗を浅めに植え付けます。植え付けてから二年間は株の育成をはかるため、実を付けさせないように花を楽しんだら全て摘み取ります。

◆**施肥**(元肥十一月、芽だし肥三月上旬、追肥六月)

幼苗期は三月と六月に緩効性化成肥料を百グラムずつ与え、年々量を増やしていき、八年生の成木には元肥に油粕骨粉、または緩効性化成肥料を三百グラム、芽だし肥と追肥には速効性化成肥料を三百グラムずつ与えます。(化成肥

料の成分は8-8-8を例にブルーベリーはアンモニア態窒素を好むため硫酸と併用したり含有量の多いものを選びましょう。

◆**剪定**(二~三月)

主に主軸枝の更新をします。五年以上経った古い枝は新梢のところまで切り戻すか、他の元気な枝に更新し、細い枝や混み合っている枝は間引きします。主軸枝は五本位に仕立て、株元から出ているシュートは更新のため切らずに残しておきます。

◆**その他**

○**結実を良くするため**、一本植えてなく同系統のものを品種違いで植えることをおすすめします。また人工受粉を行うとさらに大きく沢山の実がなります。
○**株立ちを良くするため**六月から七月にかけて株元から出てきたシュートを三分の一くらい摘み取ります。枝数も増え横に広がった樹形をつくることができます。
○**根が浅いため乾燥に弱い**です。乾いてきたから早めに水をあげ、乾燥防止に腐葉土などを敷いておくとも良いでしょう。
○**病害虫よりも鳥の被害**がおおきいです。ネットをはるなどして防ぎましょう。

園芸課 斉藤益実